



大井町立相和小学校

学校通信

《発行日》
令和3年11月22日

《発行者》
露木 光人

そうわ通信 11月号

《学校教育目標》 豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成
～学び合い 高め合う なかまづくり～

やりきった相和祭！！

～めざせ金メダル 笑い合い心を合わせて楽しむ相和っ子～

素晴らしい秋晴れのもと、子どもたちの主体性を大切に、時間をかけて準備してきたものを、「運動会」ではなく「相和祭」として、11月13日（土）に実施することができました。ありがたいことに、教職員は当日までに子どもたちの創り上げていく成長過程を見続けることができます。演技等に取り組んだばかりのころは、当たり前とはいえ「大丈夫かな？」と心配になることもあります。時間を重ねるごとに動きにメリハリが出てきて、表情まで変わってきます。その様子を見ることができるというのは、教師冥利に尽きるの一言です。



さて、ここでは、大活躍で大忙しだった6年生に焦点を当てて紹介します。当日の午後、すべての学年が振り返りを行いました。6年生の一人が、次のような作文を書きました。

（前略）最後に、Dynamite を踊りました。私は、これが一番心に残っています。さかのぼること1か月、私たち6年生がスベリーさんにダンスの振り付けを教えてもらっていたときのことです。はじめは、振り付けが難しくて、4・5年生にうまく教えてあげられるか不安になりました。でも、不安だからこそ、たくさん自主練習をしました。相和祭までの期間、自分たちの休み時間を使って、Dynamite の練習をする4年生の姿も見られました。これならいける！最高のダンスになると思いました。（中略）最後には、全校に金メダルが授与されました。うれしそうな下級生の顔を見て、私もうれしくなりました。最後には、仲間と金メダルをかけあいました。相和祭が終わって、私が改めて感じたことは、“仲間の大切さ”です。そもそも、6年生の仲間がいなかったら、相和祭は創れなかった。もし、委員会みんながいなかったら、相和っ子の笑顔は見られなかったと思いました。私たちは、たった一日、一瞬のこのために何度も悩みました。でも、相和祭が終わった後の相和っ子の笑顔を見て、「やっていてよかった」と思いました。



全校集合！閉会式後のみんな

相和祭の意義、すべてを物語っています。改めて、本校の6年生の存在の大きさを実感しました。サブリーダーの5年生も含め、本当にありがとう！！



ありがとう！6年生

「子育てアラカルト⑤ ～失敗は尊い～」

子どもたちがこれまで、そしてこれから生きていくうえで、すべてうまくいく（成功）ということとはありえないことで、必ず「失敗」が伴うことでしょう。それは、教職員や地域の方々、そして保護者も含めた大人も同様であり、私自身もこれまで数えきれないほどの失敗を重ねてきました。

過日、新聞を読んでいたら、次のように書いてありました。「偉大な発明家の系譜をたどると、共通点が浮かび上がってくる。困難にくじけず、挑み続ける根気強さである。『私は今までに一度も失敗をしたことがない。電球が光らないという発見を2万回しただけだ。』白熱電球や蓄音機の生みの親エジソンは、失敗に学ぶ姿勢の大切さを述べている。」と・・・。

確かに失敗は避けたいというのが正直なところだと思いますが、その失敗を生かし、そこから学べばその失敗は価値あるものになります。家庭・学校・地域が連携して、失敗を恐れずチャレンジする子をぜひ育てたいと強く思います。ただし、安易に失敗をしてもよいということではないと考えます。一生懸命考え、自分で判断し、その時点で一番よいと思われるものを選択することが大切ではないでしょうか。「軽い失敗」というものではなく、それはただの「手抜き」に見えてしまいます。子どもの果敢に挑戦している姿を応援し、もし失敗した時に、大人はどんな一言をかけるとよいのかを、今一度考えてみてはいかがでしょうか。

野外体験活動でいろいろ学んだ！

5年「ファイヤーハッピーサブリ」【10月29日（金）】

当初は、7月に足柄ふれあいの村での実施を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、実施月と実施場所を変更して無事行うことができました。

当日は、雲一つない晴天のもと「竹灯籠づくり」「竹鉄砲づくり」「バームクーヘンづくり」「火起こし&カレーライスづくり」等の体験活動を行い、仲間と協力しながら充実した時間を過ごすことができました。大井の里体験観光協会の方や他の協力者の方々から様々なご指導をいただき、経験することが難しいと思われることを実際にを行うことができた子どもたちは、心から楽しそうでした。

ここでは、5年生の子どもたちが、心に残った活動のランキングを付けたので紹介します。

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 第1位 | 夜の学校探検「お礼取りゲーム」（1年時の担任 齋藤先生登場） |
| 第2位 | バームクーヘンづくり（外はカリッと中はしっとり） |
| 第3位 | 竹灯籠づくり・竹鉄砲づくり（竹のすごさを感じながら） |

当日の子どもたちの顔を見ていれば、どれだけ楽しかったかがすぐにわかるほどでした。本来は泊を伴う行事であり、子どもたちもそれを楽しみにしていました。こういう形での実施でしたが、子どもたちの主体的な学びにこちらが救われたような気がします。

次年度以降の林間学校については、一昨年度までの内容に戻すのではなく、改めて、子どもたちにとって何が本当の学びになるかを再検討し、立案していきたいと思います。何といたっても、相和地区には人的・物的に大きな財産があるのですから…。



バームクーヘンが出来そうだ



考えながらかまどづくり



手作りカレーは最高の美味に

あいさつ+ONE 早朝街頭運動

今年度2回目のあいさつ+ONE 早朝街頭運動が、11月10日（水）に行われました。

当日の運動は、地域のみなさんにもご協力いただくとともに、子どもたちのふだんからのあいさつの様子を見ていただきました。「気持ちよいあいさつができますね」「みんな表情が明るいですね」などのお言葉をいただき、日頃からあいさつの大切さを伝え続けてきたことの価値付けができました。

あいさつがイベント（一時的な流行）で終わることなく、「文化」となるよう努めていきます。



うれしい報告！

夏休み中に児童が取り組んだ課題等の中で、うれしいことに多くの作品が表彰を受けました。ここでは、個人名は掲出しませんが、児童昇降口付近の掲示に報告してありますので、来校の際にご覧いただければ幸いです。

県福祉作文	優秀賞 1名	
町福祉作文	優秀賞 2名	
町子ども絵画展	最優秀賞 2名	優秀賞 5名
町交通安全ポスター	優秀賞 1名	敢闘賞 3名
町交通安全標語	優秀賞 2名	敢闘賞 1名
税の書道展	銅賞 3名	佳作 7名
	努力賞 5名	

11月22日現在

～教育実習生が6年生の学級で学びました～

本校の卒業生である大川美澄さん（大学4年生）が、11月8日から19日まで2週間という短い期間でしたが教育実習に来ました。母校での教育実習ということで、やりやすい面と難しい面があったかと思います。主に6年教室で実習を行いました。中学入学の日が近づいてきた6年生の子どもたちにとって、先生としてだけではなくよき先輩としても接してくれました。いずれまた、本当の先生として、相和小に戻ってきてほしいですね。

